SOMPO

交付運用報告書

# モルガン・スタンレー社債（早期償還条項付）／ＢＡＳＩＣ戦略ファンド２０２２－０９
## ＜愛称＞ インカム・ターゲット２０２２－０９

**単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型）**

**作成対象期間：2024年10月17日～2025年10月16日**

第３期 決算日：2025年10月16日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資し、設定日から約10年後の当ファンドの償還価額について、元本確保を目指しつつ、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

| 第３期末　2025.10.16 | |
|---|---|
| 基準価額 | 9,245円 |
| 純資産総額 | 929百万円 |
| 騰落率※ | △3.9% |
| 期中分配金合計 | 20円 |

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。
なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

**▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法**

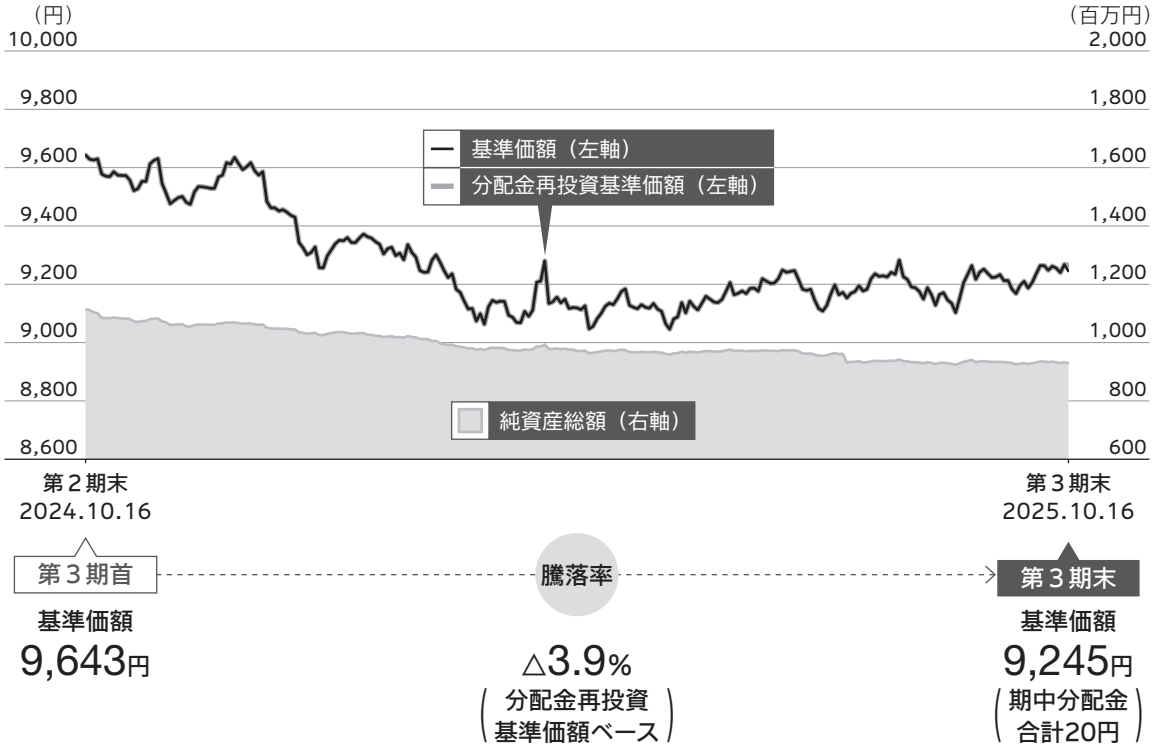
**https://www.sompo-am.co.jp/**
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。


SOMPOアセットマネジメント株式会社
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）
0120-69-5432

# 運用経過

## 基準価額の推移




- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年10月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご留意ください。
- 当ファンドは、モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は－3.9%となりました。

保有するモルガン・スタンレー社債（モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券）の利回りが上昇（価格は下落）した事等により、分配金再投資基準価額はマイナスとなりました。

## ● 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第３期 2024.10.17～2025.10.16 | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| **(a) 信託報酬** | **37円** | **0.396%** | **(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数**<br>**期中の平均基準価額は9,272円です。** |
| （投信会社） | （14） | （0.154） | ファンドの運用の対価 |
| （販売会社） | （20） | （0.220） | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | （ 2） | （0.022） | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| **(b) その他費用** | **1** | **0.012** | **(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数** |
| （保管費用） | （ 0） | （0.005） | 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 |
| （監査費用） | （ 1） | （0.006） | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| （その他） | （ 0） | （0.001） | 信託事務の処理にかかるその他の費用等 |
| **合計** | **38** | **0.408** | |

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

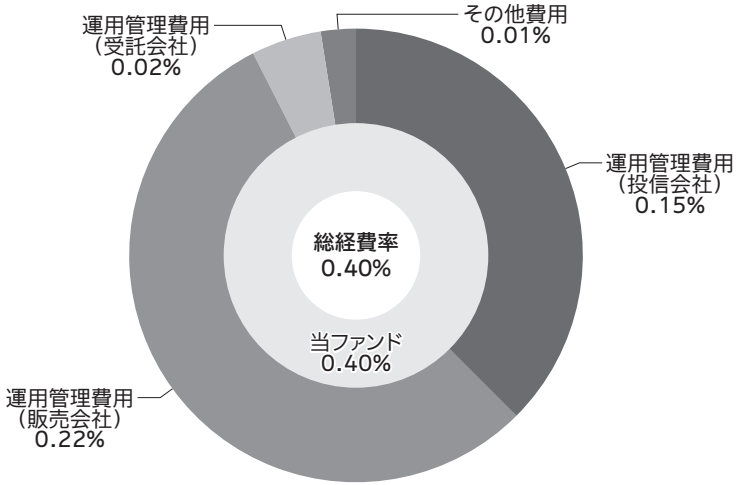
注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.40%**です。




注１．当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
注２．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
注３．各比率は、年率換算した値です。
注４．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移　2020.10.16～2025.10.16

- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご留意ください。
- 当ファンドは、モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

| 決算日 | | 2022.9.30<br>設定時 | 2023.10.16<br>決算日 | 2024.10.16<br>決算日 | 2025.10.16<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | （円） | 10,000 | 9,297 | 9,643 | 9,245 |
| 期中分配金合計（税引前） | （円） | － | 15 | 125 | 20 |
| 分配金再投資<br>基準価額騰落率 | （%） | － | △ 6.9 | 5.1 | △ 3.9 |
| 純資産総額 | （百万円） | 1,323 | 1,203 | 1,113 | 929 |

## 投資環境

（先進国株式）トランプ政権の関税政策を巡る不透明感から大きく変動する局面もありましたが、AI関連銘柄への期待感が相場を支え、株式市場は総じて上昇しました。

（日本株式）米国の保護主義的な政策への懸念から大きく変動する局面もありましたが、期央以降は、米国の貿易摩擦懸念の後退もあり、株式市場は上昇基調に転じました。

（先進国債券）財政悪化懸念から長期金利が上昇する局面もありましたが、FRB（米連邦準備理事会）やECB（欧州中央銀行）の利下げ期待・実施が続く中、短期金利を中心に金利は低下（価格は上昇）しました。

（日本債券）日銀による金融正常化観測が続く中、長期金利は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

モルガン・スタンレー社債の組入比率を高位に保ちました。モルガン・スタンレー社債への投資を通じて、モルガン・スタンレーが提供するBASIC戦略の収益率に基づいて算出される利金収入の獲得を目指しつつ、ファンドの満期償還時における元本確保を目指しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、１万口当たり20円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

## 今後の運用方針

引き続き、モルガン・スタンレー社債の組入比率を高位に保ち、BASIC戦略の収益率に基づいて算出される利金収入の獲得を目指しつつ、ファンド満期償還時に元本確保を目指します。

## お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年４月１日）。

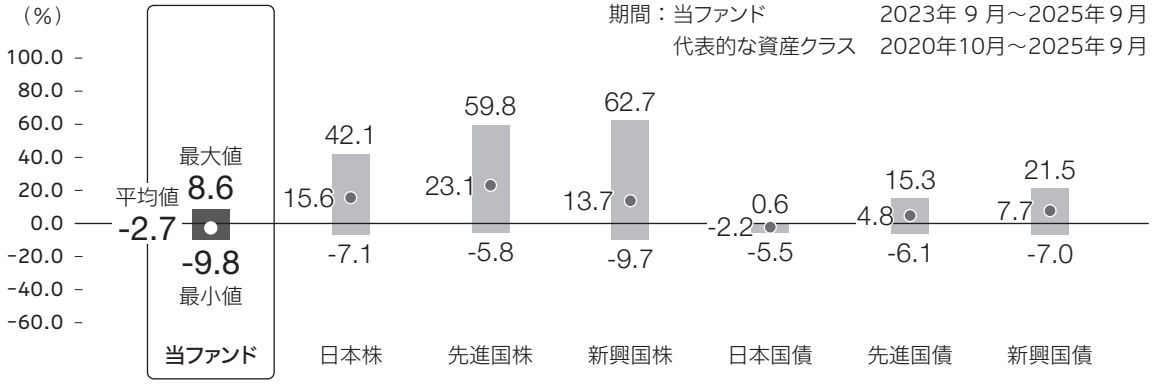
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## ● 当該投資信託の概要

| | |
|---|---|
| 商品分類 | 単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型） |
| 信託期間 | 2022年９月30日から2032年10月18日まで |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的とします。 |
| 主要投資対象 | モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行する円建債券 |
| 運用方法 | ① モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券（以下「モルガン・スタンレー社債」といいます。）に投資し、設定日から約10年後の当ファンドの償還価額について、元本確保※1を目指します。<br>※１　信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る可能性があります。また、発行体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。<br>② モルガン・スタンレー社債への投資を通じて、主としてモルガン・スタンレーが提供する日米欧のマルチアセット戦略であるBASIC戦略2022-09※2のパフォーマンスに基づいて算出される債券の利金収入の獲得、ならびに利金収入から当ファンドの諸コスト等を差し引いた分配原資のなかから、年１回の決算時に分配を行うことを目指します。<br>※２　BASIC戦略2022-09の投資対象は日本、米国、欧州の株価指数先物、債券先物等です。<br>③ モルガン・スタンレー社債の利金は、固定クーポンと実績クーポンから構成されます。なお、固定クーポンは毎期一定水準支払われ、実績クーポンはBASIC戦略2022-09のパフォーマンスに基づいて支払われます。<br>④ モルガン・スタンレー社債には、実績クーポンの累積が一定水準に達すると早期償還される条件が付与されており、同社債が早期償還された場合、当ファンドも元本確保を目指しつつ、繰上償還します。ただし、モルガン・スタンレー社債が満期日に償還された場合、原則として当ファンドは信託終了日に信託を終了します。<br>⑤ モルガン・スタンレー社債の組入比率は、原則として、高位を維持することを基本とします。満期または早期償還日まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>① 分配対象額の範囲は、元本超過額、または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。<br>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご留意ください。




＊ 上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 各資産クラスの指数

| | |
|---|---|
| 日本株 | 東証株価指数（TOPIX）（配当込み） |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース） |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース） |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース） |

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご留意ください。

指数に関しての詳細は11ページをご参照ください。

## 当該投資信託の組入資産の内容

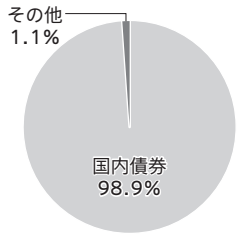
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入上位10銘柄

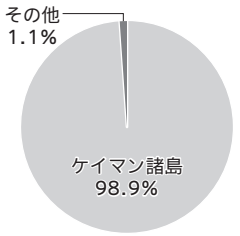
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | MS BASIC VT ER JPY 2022−09 | 社債券 | 日本円 | ケイマン諸島 | 98.9% |
| 2 | − | − | − | − | − |
| 3 | − | − | − | − | − |
| 4 | − | − | − | − | − |
| 5 | − | − | − | − | − |
| 6 | − | − | − | − | − |
| 7 | − | − | − | − | − |
| 8 | − | − | − | − | − |
| 9 | − | − | − | − | − |
| 10 | − | − | − | − | − |
| | 組入銘柄数 | | 1銘柄 | | |

注．比率は第３期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分




### 国別配分




### 通貨別配分

注．比率は第３期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## 純資産等

| 項目 | 第３期末<br>2025.10.16 |
|---|---|
| 純資産総額 | 929,498,769円 |
| 受益権総口数 | 1,005,410,469口 |
| １万口当たり基準価額 | 9,245円 |

※ 当期中における解約元本額は149,283,361円です。

## ● 指数に関して

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

**■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）**

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

**■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）**

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

**■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）**

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

**■ NOMURA-BPI国債**

野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

**■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）**

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

**■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）**

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。